



学校の先生についてのアンケート ご協力ありがとうございました!



先生!しっかりして!
No! Go! Tell!
地域活動部
連絡もくたさ

信 毎 こども 新 聞 は 8 月 に、
学 校 の 先 生 が 子 ど も の 体 に い や
な さ わ り 方 を し た り し て 問 題 に
な っ て い る こ と に つ い て、こ
も 記 者 の み な さ ん に ア ン ケ ー
ト を 送 り ま し た。こ の 問 題 に つ い
て 大 人 は さ ま ざ ま な 議 論 を し て
い ま す が、子 ど も た ち が ど う 見
て い る の か 幸 直 な 意 見 を 聞 い て
み た が た っ た か ら だ す。ア ン ケ ー
ト を 作 っ て い る 時 は、「ち ゃ っ
と 答 え に こ い、お す が し い 内 容
か な」と か「ど れ ぐ ら い の 人 が
答 え て く れ る か な」と か、不 安
な 気 持 ち も あ り ま し た。
結 果 は、私 た ち が 予 想 し て い た よ り も 多 い、52 人
も の こども 記 者 が 答 え て く れ ま し た!
し か も、回 答 欄 に び っ し り 書 い て く れ た り、何 回 も
文 章 を 直 し た の が 消 し つ め て 文 字 を 消 し た 跡 が た く さ
ん あ っ た り。私 た ち の 問 い か け に、真 剣 に 答 え て く
れ て 本 当 に あ り が と う ご ざ い ま し た。内 容 も、ど の
意 見 も と ち ょ 大 切 な こ と ば か り だ と 思 い ま し た。紙 面
が 限 ら れ て い て 全 て の 意 見 を 新 聞 で 紹 介 す る こ と は
で き ま せ ん で し た が、ア ン ケ ー ト は 全 部 地 域 活 動 部 の
み な さん で し っ か り 読 ま せ て も ら い ま し た。み な さん に
こ っ と 学 校 が よ り 良 い 場 所 に な る た め に、私 た ち は 何



すごい!



こども記者のみなさんと一緒に取材したり、
新聞をつくったりして、4年がすぎました。10月1日
から、文化部という部署に行くことになりました。
みなさんにありがとうと、さよならのごあいさつ
です。

地域活動部ができて、信毎こども新聞を担当
するようになった時は、毎週土曜日1ページしか
ありませんでした。いまは月2回7ページ、ほかの
土曜日は4ページになり、私もびっぴりです。みな
さんが頑張って記事を書いてくれて、新聞を読んで
応援してくれたからだと思います。ありがとうございました。



2010年4月11日のこども新聞

こども新聞やこども記者クラブをつくったのは
①小学生のみなさんに新聞を好きになってほし
い ②取材も記事を書くことも「本物」を体験し
てほしい ③新聞記者の仕事を知って、記者と
仲良しになってほしい という気持ちからでした。
みんなと取材をすると、大人の私たちも知らな
かったことを発見したり、びっくりしたりしたこ
とがたくさんありました。こども記者の質問がする
どくて、聞かれた人がたじろしたこともありま
したよね。一番印象的だったのは、阿部知事へ
のインタビューで「どうやったら学級長の選挙で
選ばれるようになりますか?」という内容の質問
でした。いつも言っている「勇気を持って聞くこと。
知らないことははずかしくない」ということを忘
れないでほしいと思います。

こども新聞に写真や絵や俳句を送ってくれた
り、アンケートに協力してくれたみなさんも本当
にありがとう。先日募集した先生への意見には、
こちらが予想していたよりもたくさんの答えが
届いて、一つひとつを読みながら、涙が出てきま
した。小学生が関心あること、おもしろいと思
うことで新聞をつくっていきたいと思うので、こ

れからも参加してください。みんなの力がこども
新聞をつくっている記者たちのエネルギーです。

文化部というのは、新聞の真ん中にあるくらし
面、文化面、芸能面を担当します。タレントやアニ
メ作家が出てくる芸能面は読んだことがあるか
な? 私は昔、8年間文化部にいて、自分のこども
を育てながら、こどもにかかわることをたくさん
記事に書きました。安曇野市にある県立こども
病院のことは本にもなりました。その時にたく
さんのお母さん、お父さん、こどもたちに取材し
たことが、こども新聞をつくるのに役にたちました。
そして、地域活動部での仕事も、これからにつな
がると思っています。

もしできたら、こども新聞を開くのと一緒に、く
らし面、文化面、芸能面ものぞいて
みてください。大きくなっても
新聞を読んで、いつかこども
記者の中から本当の記者が
誕生するといいなあ。
じゃあまたね。どこかでお会い
しましょう。

地域活動部長 井上裕子



もし 記者じゃなかったら なりたいものいろいろ

新聞記者になっていなかったら??どんな仕事をしていたでし
ょうね。子どものころから、なりたいものはいろいろ変わってきま
したから…。

初めて「なりたい」と思ったのは、童話作家でした。小学生のこ
ろは、本をたくさん読んでいたからなあ。(今も読まなくちゃ…)。
中学生のころは、アナウンサー。これはちょっと恥ずかしいですね。
かわいいからではなく、NHKの加賀美さんというアナウンサーの
落ち着いた話し方が好きだったのです(言い訳)。

具体的に考えたのは、高校1年生のとき。信濃毎日新聞に「日本
語の研究者」という人が出ていて、将来はこういう研究をしたい
と思いました。毎日ふつうに話している言葉のことをあれこれ考
えるという点が、おもしろそうだったんですね。(大学では、あんまり
一生懸命勉強しなかったんだけど…)。

大学を卒業して就職するときは、本の編集者になりたかった。で
も、出版社に入るのはすごく難しかったので、いろいろな会社の試

報道部 デスク

井上典子



験を受けました。生命保険とか、メーカーとかも。
合格したのが、この信濃毎日新聞社と印刷会社でし
た。こうやって振り返ると、興味があつたのは、紙
とか言葉とかに関係している仕事なんですね。

新聞記者になってからも「別の仕事してみたい」
と思ったことは何度もありますよ。その代表は、マッサージ師!
疲れている人を癒やしてあげて、「ありがとう」って言ってもらえ
るでしょ? わたしは子どものころ、家族の肩や背中をもむのが
上手でした。マッサージ師になるための学校の資料を取り寄せたこ
ともありますよ。こういうのを大人の世界では「逃避行動」って言
います。意味は、周りの大人の人に聞いてみてください。

今も、外国人に日本語を教えてみたいとか、被災地に行って何か
したいとか、あれこれ考えます。そういう興味を持ったら、実際に
その仕事をしている人にいろいろと話を聞けて、「へえ〜」って思
えるから、新聞記者ってすごくおもしろい仕事ですけどね。